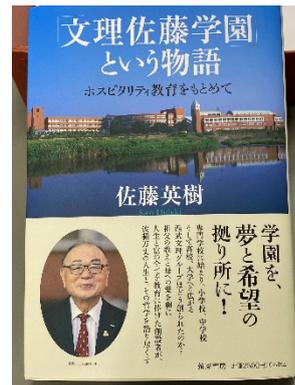


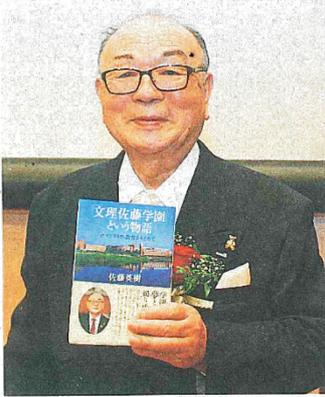
佐藤英樹 名誉理事長の著書 「文理佐藤学園という物語」が紹介 されました

山梨日日新聞に学校法人文理佐藤学園 創立者・佐藤英樹名誉理事長の著書『「文理佐藤学園という物語」ホスピタリティ教育を求めて』が紹介されました。佐藤英樹名誉理事長は山梨出身という事もあり、大きく取り上げていただきました。



山梨日日新聞

2023(令和5)年 2月12日 曜日 (66歳)



文理佐藤学園創設の佐藤さん 教育者の信念つづる

西武文理天などを運営するさん(87)山梨市出身は文理佐藤学園(埼玉県)の創「文理佐藤学園」という物設者で名誉理事長の佐藤英樹「語」(筑摩書房)を著した。これまでの半生を振り返るとともに、教育者として大切にしてきた信念などをつづって「文理佐藤学園」という物語」を出版した佐藤英樹さん 東京都内

佐藤さんは日川高卒業後、料理人を目指して上京。服部栄養専門学校で料理、東京農大で栄養学を学んだ後、「自分が日本一の料理人になるのは無理だが、日本一の料理人を育てる学校ならつくれるのではないか」と考え、1996年に所沢市に西武栄養料理学院を創設した。生徒との交流を通して、人を育てることの深さと面白さに魅了され、教育に一生をささげることを決めたという。

75年に学校法人西武学園(後に文理佐藤学園に改称)を設立し、理事長に就くと、小中高校、大学も開校した。本では、高校生まで過ごした山梨時代の記憶や、多くの学校を開くまでの苦労話、人に喜んでもらう「ホスピタリティ」(もてなし)の気持ち大切にしたい教育者としての心構えなどを記している。

昨年7月に理事長を退き、名誉理事長に就いた佐藤さん。「ここまで来るのに数え切れないほど多くの方の協力をいただいた。これからも自らの夢を体現した学園のために力を尽くしたい」と話している。

〈横内史真〉

学園を、夢と希望の拠り所に！
専門学校に始まり、小学校、中学、そして高校、大学へと広がる西武文理グループはどう 作られたか？

祖父の教えと母への愛を糧に人生と富の全てを教育に捧げた創設者が、波乱 万丈の人生と、その哲学を語り尽くす。

「役にたたない人は1人もいないこと、いかなる人も役に立つことを銘記すべきである。問題は、それぞれの人が何に役立つかを見つけることにある」。

この言葉は、佐藤がその作品を見るなり強く魅せられて、スペイン政府公認のレプリカー一式を取得した、あの天才・ガウディの言葉である。「跋-佐藤英樹の「教育」を読み解く」より (以上、『「文理佐藤学園」というものがたり』より抜粋)

- 【在校生・卒業生・保護者】
各校事務室にお問い合わせください。
- 【取引先の方】
法人本部もしくは各校事務室にお問い合わせください。
- 【上記以外の方】
書店でのご予約をお願いいたします。